

令和5年度 事業計画

観光振興事業

1. 自主事業

(1) 観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

本県への観光誘客を促進するため、鉄道主要駅や空港、道の駅等の交通結節での、徳島観光ガイドマップをはじめとする各種パンフレットの配布や、近隣県の旅行会社等への情報提供を行うとともに、観光情報サイト「阿波ナビ」や、SNS（Facebook, Instagram, Twitter）を活用し、情報発信の強化を行う。

② 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア内にある観光情報ステーションにおいて、徳島県及び県内市町村のパンフレットの設置や動画を放映し、情報発信力強化を図り、観光客の誘致促進に努める。

③ 徳島魅力あふれる観光素材収集活用事業

徳島県内の四季を通じた魅力ある観光資源を写真、映像等で収集し、使用权フリーの観光素材を充実し、フォトギャラリーからメディア等が簡単かつ適切に素材を取得できるよう整備し、観光徳島の魅力を発信する。

④ 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

徳島県の観光と物産の魅力を発信し、本県の認知度向上を図り、訪日客誘致を図るため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱して、特使の人脈を活かした徳島県の観光PRを実施する。

⑤ 感動とくしま再発見！フォトコンテスト事業

徳島県物産協会と連携し、徳島県が誇る伝統工芸、特産品、職人や生産者、自然、歴史文化、にぎわいの景観や、お気に入りの風景などを募集したフォトコンテストを実施する。また、入賞作品をカレンダー制作や情報発信などに活用し、本県の魅力を発信する。

(2) 観光客誘致促進事業

① 未来を創るSDGsプログラムブラッシュアップ事業

県内DMO及び高等教育機関と連携し、既存の観光資源や教育旅行向け、プログラム等を、SDGsプログラムとしてブラッシュアップし、他地域と差別化をすることで、大坂・関西万博等に向け誘客促進を図る。

② 四国域内流動促進事業

四国4県の観光協会が連携し、四国内での域内交流を活性化するため、各県協会が関係する観光イベント等やJR四国主要駅等に観光パンフレットを設置し情報発信を行う。

また、おもてなし四国を推進するため、観光客が感激したおもてなし事例を募集・選考し、表彰する「四国おもてなし感激大賞」事業を継続実施する。

③ アフターコロナ魅力発信事業

東京・大阪・名古屋の三大都市圏をはじめとした誘客の見込まれる地域において、関係機関や観光事業者と連携して観光イベント等に参加し、本県の観光情報を発信し、アフターコロナにおける観光誘客を図る。

④ メディア活用情報発信事業

ソーシャルメディア（SNS）やWEB配信等をはじめとするメディアを活用し、ターゲットを絞った効果的な県内観光情報の発信を行い、誘客促進を図る。

また、メディアの取材支援や情報提供を積極的に行い、記事掲載等による旅行喚起に繋げる。

(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業

外国人の徳島観光満足度を高めるため、体験施設や観光ガイドにおける体験手順やガイドポイントの多言語表記などを支援するとともに、SNSでの発信強化を図り、外国人受入態勢の整備に努める。

② 観光関連事業団体の連携支援事業

県内の観光ガイド団体や観光ボランティアガイド団体等の連携を図り、ポストコロナにおけるおもてなし徳島の受入体制を支援する。

2. 県からの受託事業

(1) 売れる“観光徳島”推進事業

県内事業者の横連携を強化するとともに、官民連携プロジェクトチームによる「オール徳島」での誘客プロモーションにより、本県の認知度及び魅力の向上を図る。

(2) 周遊促進！徳島観光すいすい事業

旅行商品の造成につながる団体旅行者向けのバス助成を実施する。

(3) とくしまロケーション・ブランド発信事業

映画・テレビ・CM等の県内誘致を促進するため、映像制作関係者などへロケ地等の情報提供やロケアテンドなどの支援を行う。

(4) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信や県内で開催されるイベントに対し支援する。

(5) とくしま観光人づくり事業

県内の観光産業を担う人材の育成・活用のため、「学びの場」として、観光関連事業者や高等教育機関等との連携による「とくしま観光アカデミー」を運営する。

(6) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

徳島県のイメージアップを図るとともに、郷土の伝統芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行う。

(7) 阿波おどり「春夏秋冬エキサイティング」事業（冬）

「阿波おどり」をはじめとした「あわ文化」体験イベントを開催することにより、年間を通じた誘客促進を図る。

(8) 観光情報提供システム整備事業

観光客の誘致促進や受入態勢の充実を図るため、観光情報提供サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行う。

(9) 着地型観光・コンベンション事業

徳島県への来訪者数増につなげるため、県内の着地型旅行商品の情報発信やコンベンション主催者及び来訪者等への魅力発信を行う。

(10) 徳島一福岡線利用による旅行商品造成促進事業

徳島阿波おどり空港における徳島一福岡線の更なる利用促進・需要喚起を目的として、徳島一福岡線利用による県内での宿泊を含む団体ツアー旅行商品に対する助成を行う。

(11) 「みんなで！徳島旅行割」実施事業

全国から徳島県へ来訪・周遊する旅行者の観光消費の喚起、並びに旅行機運の醸成を図ることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける徳島県内等の観光関連事業者への支援を行う。

(12) 徳島サステナブル・ツーリズム推進事業

2025年の大阪・関西万博に向け、本県の強みである「SDGsの取り組み」を活かし、「サステナブルツーリズム」を推進することで、「徳島の観光誘客」や「観光消費額増」につなげる。

(13) 「Visit Tokushima」千客万来事業（ニューツーリズムの誘致）

教育旅行、スポーツツーリズムやサステナブル・ツーリズムなど、本県ならではのコンテンツと観光を組み合わせた「ニューツーリズム」のPR及びSIT旅行商品の造成を図る。

3. 収益事業

(1) 自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップ、とくしま観光カレンダー等の販売により収益拡大に努める。

また、賛助会員の増強による組織基盤の強化を図る。

コンベンション振興事業

1. コンベンション振興事業

(1) 誘致対策事業

① コンベンショントレードショーへの参加

ア. 国際MICEエキスポへの参加

国内外の会議主催者やキーパーソンに対して、施設・ホテル情報や各種支援案内・提案等を行ない、本県へのコンベンション誘致に努める。

イ. 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区のコンベンション推進団体と協力し、懇談会を開催し、コンベンション主催団体に向けたPRと誘致に努める。

ウ. MICE EXPO in Kansai への参加

関西で初めて開催される「MICE EXPO in Kansai」に参加し、MICE主催団体に対して、コンベンション施設・ホテル情報や各種支援案内、本県ならではの体験プログラムを提案し誘客に努める。

② 企画提案・視察支援事業

主催者に対してコンベンション開催支援制度やコンベンション施設の紹介、各種企画提案による誘致活動を行うとともに、ポストコロナの開催について各種提案と支援を行う。

また、コンベンション開催予定の主催者が視察する際の各種支援を行う。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会を運営し、県内各種関係団体と連携した誘致活動を推進する。

④ コンベンションセミナーの開催

県内へのMICE誘致に向けた大学等のMICE主催者や、受入に向けては関連事業者等を対象に、本県へのコンベンション誘致のためのプログラム紹介や、誘致及び受入での実践的な方策について学ぶ「MICEセミナー」を開催し、誘致促進に努める。

⑤ 広域連携による誘致促進事業

中国・四国地域のコンベンション団体で構成する協議会や、その他地域のコンベンション団体と連携し、効果的な誘致促進に努める。

(2) 受入支援事業

① コンベンション開催支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し、開催経費の一部、郷土芸能等のアトラクション経費、シャトルバス運行に係る経費、アフターコンベンションに係るバス借り上げ経費、1,000泊以上のコンベンションを対象とする県立施設使用料、展示会開催について、対象要件に応じて助成する。

② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業

コンベンション参加者に対して、県内観光地や飲食店の紹介や優待割引券を付加した資料を提供し、県内滞在時間拡大や広域周遊を働きかける。

③ MICEおもてなし事業

全国大会・学会開催時の歓迎看板の設置及び、大規模コンベンション開催時には、宿泊、観光など関連施設で歓迎ポスターを掲示する。

また、会場での観光PRブースや、徳島ならではの土産物、地酒等の土産販売による賑やかしについて企画提案し関係団体と調整する。

④ MICEワンストップ事業

大規模学会等の開催時に、飲食店や観光地等のオリジナル配布物を作成する場合、ワンストップで各種調整業務を行う。

また、主催者に対し徳島をイメージしたコングレスバックを販売する外、主催者が作成する資料等で活用が出来る、地図データ等を作成し提供する。

⑤ 関係団体との連携

JNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コングレス・ツアーツヨビユ-）、県市町村、大学等と連携して、コンベンション開催情報を収集し、当協会の賛助会員、とくしまコンベンション誘致推進協議会の会員等と情報共有することにより、コンベンション受入の気運醸成を図る。

(3) 海外からのMICE誘致等促進事業

① スペシャル インタレスト とくしま（SIT）発信事業

徳島ならではの、テーマ性の高い特別な目的に絞った旅行「SIT（スペシャル インタレスト ツアー）プラン」をDMO等観光振興団体や県内観光事業者（賛助会員）等と連携し、既存の観光資源をブラッシュアップし、国内外に発信し誘客に努める。

② 各種インバウンド商談会への参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPANトラベル&MICEマート」など各種商談会に出展し、本県の観光PRを行い誘致を図る。

③ 中国・香港からの誘致

中国・香港の旅行AGTに対して教育旅行、MICE、各種体験旅行等の誘致を図る。

④ 台湾からの誘致

JNTOや日本観光振興協会四国支部等と連携するとともに、徳島と縁のある台湾の施設や、台湾学校長等教育関係者、台湾阿波踊り推進協会、台湾徳島県人会等の人脈を活用し、徳島独自のSDGsや体験を紹介して台湾からの観光客や教育旅行の誘致を図る。

⑤ その他の国からの誘致

徳島県や四国ツーリズム創造機構と連携し、韓国・タイ・マレーシアといった東・東南アジアを主軸に教育旅行やインセンティブ旅行の誘致を図る。

施設等管理運営事業

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

（1）指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった、第4期（令和3年度から令和7年度まで）の3年目であり、引き続き、SDGsやニューノーマルへの対応を図り「安全・安心・快適」を基本方針として、利便性と利用者サービスの向上に取り組むとともに、更なる業務能率の向上や効率化を推進する。

また、新型コロナウイルス感染症対策により、多目的ホールでのイベントを延期や中止などで見合わせていた主催者に加え、新たな主催者等によるイベントの利用促進を図るため、新規利用が期待できる主催者やリピーター等に対し積極的な誘致活動を行うこととする。

なお、令和5年度は「アスティとくしま開館30周年」のため、周年記念イベントや記念モニュメント等を作成するほか、30周年関連事業を実施し、利用促進、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。

（2）感染症対策

コロナ禍を踏まえ、これまでに感染症予防対策として、手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入等に加え、抗ウイルス・抗菌性ワックスによる共用部や備品等への処理など、引き続き、必要な感染症対策に努める。

なお、「感染症法上の位置付けの変更」を見据えるとともに、県との連携を図りながら適時適切な対応を行う。

（3）館内設備の維持更新等

館内設備については、定期的な点検により故障や事故の未然防止に努める。

また、設備の維持や修繕については、経年劣化状況に加え、安全性とコストの両面から優先度を決定し、県との事前協議を綿密に行いながら効率的かつ効果的に実施する。

(4) 県指定事業

① アスティおどりひろば

8月12日から15日までの4日間、本県の観光振興及び阿波おどり期間中の昼間対策として、無料で県内有名連による阿波おどりの上演やレッスンをを行い観光客の誘致を図る。

(5) 自主事業

① アスティとくしま開館30周年記念イベント 新規

アスティとくしまは、平成5年（1993年）10月20日にオープンし、令和5年（2023年）で開館30周年を迎える。

これまでの実績により交流のあるイベント等との協力を得て、アーティストを多目的ホールへ誘致しイベントを開催することで、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。

② 秋の阿波おどり

平成20年度から当協会単独事業として開催しており、平成26年度から県と共同開催している「秋の阿波おどり」を今年度も開催する。

本県の郷土芸能や工芸体験に加え、特産品販売ブース、飲食グルメブース等の内容を充実し、交流人口の拡大と地域の活性化に繋げる。

また、有名連による「阿波おどり大絵巻」の他、「全国阿波おどりコンテスト」や「世界阿波おどりサミット」などを開催し、阿波おどりの裾野の拡大を目指す。

③ アスティ阿波奏舞祭

県内4大学の阿波おどりをメインとし開催する中、出演者・来場者ともに好評を得ており、次回開催を望む声も多かったことから、今年度も引き続き開催し、青年層による文化振興をサポートするとともに、地域におけるにぎわい創出を図る。

④ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

阿波おどりの練習場所として、多目的ホールの空き日を有名連に提供するとともに、練習風景の観覧情報を市内の宿泊施設等に発信し、観光客に練習風景を観覧いただくことで、観光振興とにぎわいの創出に努める。

⑤ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

県や市町村等と連携し、ふれあい広場を各地域のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として活用し、県内各地の観光情報発信をサポートする。

⑥ SDGs 推進施策

今年度も引き続き、クールビズやウォームビズ対応に取り組むとともに、経営状況などを勘案し、県とも協議を行いながら館内蛍光灯のLED電球への交換、など省エネルギー設備の導入を推進する。

また、CS及びESがともに向上するようジェンダーフリーで働きやすい職場づくりに取り組む。

(6) 利用促進事業

① 大会・会議等の誘致事業

当協会のコンベンション部門と連携し、「国際MICEエキスポ」や「中四国地区コンベンション誘致懇談会」等に参加し、当施設の規模や開催地域に当てはまる可能性が高い大会や会議、学会などの誘致に努める。

② 主催者訪問事業 新規

昨年度、「アスティとくしま見学会」を開催したところ、参加者の中に、これまで単独で多目的ホール利用のなかった主催者も多く含まれており、見学会だけで終わることなく、主催者を訪問し営業活動を行い、多目的ホールの稼働率や使用料収入の増加を図る。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、多目的ホールの利用が回復していないリピーターや疎遠となっている主催者等にも営業活動を行う。

③ イベント等開催支援助成金交付事業 新規

新型コロナウイルス感染症等の影響により、一定の期間開催できなかったイベントや過去に実績があり近年利用がないイベント、新規利用の主催者によるイベント開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者等に対し、支援助成金を交付する。

④ 興行への支援助成金交付事業

有名タレントやスポーツ選手等による興行は、チケットの確保が困難な県外からの参加者も多数あり、宿泊や飲食等を伴うなど地域への経済効果が大きいと考えられる。

このことから、興行の開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者等に対し、支援助成金を交付する。

⑤ FM放送局活用事業（開館30周年関連事業）**新規**

これまでのイベント広報に加え、開館30周年を機に「FM放送局」を活用し、多目的ホールで開催されるイベント情報や駐車場の混雑予想情報等を発信し、渋滞緩和や違法駐車などの抑制につなげるとともに、地域の活性化を図る。

⑥ 「アスティとくしまだより」発刊事業（開館30周年関連事業）**新規**

多目的ホールでの催し物や今後の主なホールイベント・自主事業等の予定などを取りまとめた「アスティとくしまだより（仮称）」を開館30周年を機に発刊し、アスティとくしまホームページやインスタグラム、ツイッター等で情報発信することにより、地域経済の活性化と交流人口の拡大を図る。

⑦ アスティンファンクラブ設立事業（開館30周年関連事業）**新規**

「アスティとくしま」やマスコットキャラクターである「アスティン」のファンのため、アスティンを応援いただける方なら、どなたでも参加できる「ファンクラブ」を開館30周年を機に設立する。

会員には、当協会主催イベントへの優先入場を可能とするほか、イベントボランティアとしての活動、ファンクラブ交流会などに参加できるなどのインセンティブを検討する。

- ⑧ 開館30周年記念モニュメント等作成事業（開館30周年関連事業）**新規**
アスティとくしまの開館30周年を記念したモニュメント等を作成する。
一過性のものでなく未来に向かって魅力を発信し続けることのできる内容とし、アスティとくしまの魅力向上と誘致促進につなげる。
- ⑨ ホームページのリニューアル事業
アスティとくしまのホームページを検索しやすく、施設概要をはじめ、イベント情報や利用方法などを分かりやすくするため、ホームページをリニューアルする。
スマホユーザーが多くを占めるため、リニューアルではスマホユーザーからのアクセスに配慮したサイト構造に改善する。
また、ライブカメラを利用し、アスティとくしま駐車場の混雑状況を、タイムリーに配信し近隣の混雑緩和を図るなど、有益な情報発信に努める。
- ⑩ その他
更なる利用者サービスの向上を図るため、予約管理システムなどを適宜改良することで、より利用者目線に立った施設づくりに努める。
また、当施設が徳島市の津波避難ビル・緊急避難場所等に指定されていることも踏まえ、避難対応訓練、非常時備蓄品の確保などに努める。

2. 徳島県立男女共同参画総合支援センター（ときわプラザ）の管理運営事業

（1）指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してときわプラザの指定管理を担うこととなった、第4期（令和3年度から令和7年度まで）の3年目であり、「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくりを第一義とし、男女共同参画社会づくりの拠点となるよう取り組む。

また、関係者等との連携を密にしながら、アスティとくしまを含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホールや会議室等の利用率向上に努める。

(2) 感染症対策

コロナ禍を踏まえ、これまでに感染症予防対策として、手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入等に加え、抗ウイルス・抗菌性ワックスによる共用部や備品等への処理など、引き続き、必要な感染症対策に努める。

なお、感染症位置付けの変更を見据えるとともに、県との連携を図りながら適切な対応を行う。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

渦の道と大鳴門橋架橋記念館の指定管理業務を、(株)ネオビエントと共同で行う第6期目（令和5年度から令和9年度まで）の初年度となる。引き続き両者の連携を密にし、安全・安心・快適な環境づくりに取り組みながら、更なる顧客満足度や利便性の向上に努める。

また、2025年大阪・関西万博や、ワールドマスタースゲームズの2027年関西での開催を見据え、県や市町村、観光関係団体等と協力し、旅行会社、教育機関等に誘致活動を行うとともに、インバウンド客の受入れ体制強化や、SNS等を活用し国内外へ情報発信を行う。